

# 海外ニーズに合わせた長いものの規格選別と通年輸出体制

帯広市川西農協(北海道)

## 取組の概要

- 食料輸入増に伴う農産物価格の低迷を契機として、収益性が高く地域に適合した長いものを輪作体系に取り入れた。
- 国内外のニーズに合わせて規格を選別し多様な販売展開を実施

## 事業化(プロジェクト化)成功のポイント

### 1 産地形成と通年出荷体制の構築

- ① 早くから長いものの生産に取り組んでいた農協が、更なる生産体制の強化のため近隣農協と連携することに成功。  
→ 川西長いも運営協議会の設立(昭和60年設立時は3農協→現在は9農協に拡大)  
これにより、産地・ブランド形成(十勝川西長いも)と通年出荷の体制を構築した。
- ② 長いもの品質管理を徹底するため、各農協分の種子を一元管理・供給している。

### 2 国内外のニーズに合わせた販売展開

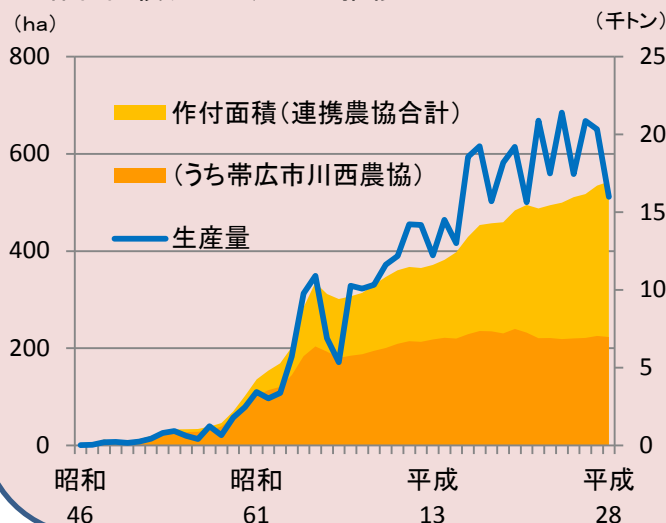
国内では安価で取引されている太物(4L規格等)が、逆に海外(台湾・アメリカ)では好まれていることから、ニーズに合わせて規格を選別した販売展開を実施(国内では2L規格が主流)。

### 3 安心・安全の取組

近年、消費者の安全・安心への関心は国内外を問わず高まっていることを受け、食品衛生管理の国際規格「HACCP」に続きGFSI(食品等事業者を会員とする国際的な機関)が承認した食品安全システムのスキームである「SQF」の認証を取得。自ら率先して先駆的な食品衛生管理を実施することにより販売先の信頼を獲得。

## 農協のメリット・農家のメリット

<作付面積及び生産量の推移>



<作付面積当たりの農家収入の推移>

